



公明党
三上 裕久

自転車マナー向上について

質問 平成27年に道路交通法の改正があり自転車運転者の罰則が明記され、29年には本市においても自転車に関する条例が制定された。そこで、本市において自転車のマナー向上にむけて、どのようなことを行っているのかを伺う。

答弁 滝川警察署、市内高等学校と連携し、合同で自転車パトロールを行っております。また、市内幼稚園、保育所、小学校で実施している交通安全教育や保護者向け自転車教室、老人クラブなどでは、安全利用のための講話なども実施しています。今後も引き続き関係機関と連携し、マナー向上と自転車事故防止に向け取り組みます。

質問 さまざまな自転車のマナー向上に向けての取り組みを実施されているようだが、まだまだ危険運転をされている方が見受けられます。そこで、自転車通学を認めている学校では、自転車安全運

に向けてどのような取り組みをされているのか伺う。

答弁 自転車利用のはじまる時期に合わせて交通安全教室を開催するほか、通学路での街頭指導を行っています。また、自転車保険についてもパンフレットを配布することで保護者に対して勧奨を行っているところです。

質問 市や市民、自転車利用者、事業者などの責務を明記し、無灯火や傘差し運転の禁止など交通ルールの遵守や交通安全教育の推進、自転車保険の加入促進・義務化などを盛り込んだ自転車条例の改正や新たな自転車条例の制定、さらには、北海道自転車条例に上乘せする条例制定についての見解を伺う。

答弁 直ちに市の条例改正を考慮していませんが、今は北海道自転車条例にのっとり、地道な啓発活動を続けていきます。



会派みどり
小野 保之

水害時の避難場所について

質問 日本各地で豪雨や強風の被害、そして胆振東部地震など、激甚・広域化になっているが、災害時の避難場所について本市では広報で地震、大規模水害と分別して掲載している。泉町、扇町、西滝川の避難場所が滝川第二小学校に指定されているが、この地区はいち早く浸水被害になる可能性がある。また、避難所が遠く高齢者などが避難する場所には適さないと思うが考えを伺う。

答弁 大規模水害では、避難所対象地域が広範囲になり、避難勧告などの伝達が分かりやすいように、町名ごとに避難所を指定しており、泉町、扇町、西滝川の避難場所が滝川第二小学校になっています。平成29年度に滝川市町内会連合会連絡協議会から避難所の見直しを求める声や、国が示す最大規模の浸水想定区域を反映した避難所の見直しが必要となり、30年度から

見直し作業に着手しており、避難所ごとの対象地区の人口、生活環境などの基礎調査を実施し、来年度以降に具体的な見直しを図ります。

石狩川河川敷パークゴルフ場について

質問 市長公約のパークゴルフ場が約1億円を投じオープンした。自然災害とは言え大雨による氾濫があり復旧にも時間を要したが造成した時点で水害は想定されていたと思う。この現況の中、指定管理者の公募を予定しているが、果たして引き受ける業者がいるのか。72ホール規模縮小などの対応が必要と思うが考えを伺う。

答弁 このパークゴルフ場は多くの高齢者などが交流され、72ホールの敷地の広さは健康増進や外客誘致にもつながっています。今回の災害時の対応でご迷惑をおかけしましたが、今後は、事前の情報収集・早期対応など被害を最小限にとどめるため改善を重ねながら、体制を整えていきたいと考えています。規模を縮小する考えは現状ありません。